

基本データ

日時：① 2019/02/24 15:00-20:00

② 2019/02/25 07:00-08:45

③ 2019/02/25 11:00-15:00

場所：富山駅・各ホテル・富山大学正門前

運営体制：学生委員(15名)・職員(3名)

配布数：冊子226冊、ティッシュ517個、  
パンフ840部

目的/概要

受験生の不安を少しでも解消するため、受験生相談ブースを富山駅や富山駅周辺のホテルに設置しました。県外からの受験生が多いため、道案内から受験後に行ける観光地まで、様々な相談に現役の富山大学生が対応しました。

コンテンツ

- ① 受験前日夕方の相談ブース
- ② 受験当日朝の相談ブース
- ③ 受験当日昼のパンフレット配布

01 “全て”の受験生を対面で  
応援しきるための工夫！

“複数ヶ所”で“複数回”開催!!

富山大学は県外からの受験生が多いため、富山駅と6ヶ所のホテル、富山大学の正門、名古屋会場の計9ヶ所で開催しました。時間帯も①～③に分けることで、“一人でも多く”の受験生に対して、対面だからこそできる「一人一人に合った対応」が出来ていると感じました。



“全て”の受験生を応援するために、複数ヶ所で、複数回で行なっていました。

02 受験前から入学式まで、  
受験生を応援！

2種類のパンフレットを作成・配布!!

受験前と受験後で変化する受験生の不安に合わせて、①と③では内容が異なるパンフレットを配布していました。①では、大学までの道案内や先輩からの応援メッセージを、③では、住まい探しなどのイベントの情報を、受験生にお届けしていました。時と場合に合致したサポートが出来ていたと思います。



受験前日に配布(左)したものは、手作り感が溢れていました。受験後に配布(右)したものは、新入生サポートセンターを宣伝していました。

03 同じ想いを持つ他団体  
と連携・協力！

「全ての受験生を応援したい！」で協力!!

一人一人に寄り添って、“全て”の受験生を応援しきりたい、という想いは駅員さんもホテルの方々も同じでした。場所の提供を中心に、多くの他団体と連携・協力していて、学生委員会の力だけでは応援しきることができなかったかもしれない受験生も、応援しきることが出来ていたと思われます。



他団体と連携・協力することで、“全て”の受験生に、対面で相談対応することが出来ていました。

訪問者からひとこと

スタッフが積極的に話しかけていく事で、より多くの受験生の不安を聞いてあげることが出来ていたと思います！同じ想いを持った多くの他団体と連携・協力していて、私も協力したくなりました！



関西北陸ブロック  
学生事務局  
[ 星野 来季 ]

